

取組のポイント

- ①平成7年の設立当初から将来を見据えて、4.9ha区画のほ場で効率的な農業を実践。地域振興構想も策定。
- ②特別栽培米の栽培に地域でいち早く取り組み、国営事業の目的である印旛沼の水質保全にも貢献。
- ③平成25年にマルシェかしまをオープンし、特別栽培米や、開発した米粉の加工品を販売。



岡本代表

取組内容

①計画的な農業経営と地域振興

地域農業の振興を目的に印旛沼土地改良区理事長が中心となり平成7年に設立。効率的な農業を目指し、当時としては日本最大の4.9ha区画での営農を実践。

法人自らが策定した農業・土地利用構想に基づき、ほ場整備による大区画化と農地集積を推進するとともに、米の出荷調整施設や直売施設も設置。

法人の経営概要

代 表：岡本 隆
設 立 年：平成7年
組 合 員：20人 社員 6人
販 売 額：64百万円
経営面積：44ha
主要作物：主食用米 14ha,
WCS 22ha, 飼料用米 8ha

②栽培技術の確立

有機質肥料と農薬散布は除草剤1回のみの使用で栽培した特別栽培米を栽培。食害米が発生しやすいことから、色彩選別器を導入し品質を安定化。特別栽培米を栽培することで、水田からの栄養塩類の流出を抑制し印旛沼の水質保全に貢献。

いち早く(平成10年)飼料用米に着目し東京農業大学と共同で栽培技術を確立し耕畜連携に取り組む。また、WCS用稲栽培を積極的に進め、直播栽培の導入と収穫作業を畜産業者へ委託することで低コスト化。



マルシェかしま

③流通・販売の工夫

平成25年にマルシェかしまをオープンし特別栽培米は全てマルシェで販売。また、地域の農家が栽培した旬の農産物を農家自ら店頭と並べることで生産者の顔の見える農業を実践。マルシェでは米粉で作ったシフォンケーキ、グルテンフリーパンケーキ等を加工、販売。



米粉の加工品



事業概要

地 区 名：印旛沼二期地区
事 業 種：国営かんがい排水事業
(流域水質保全機能増進事業)
関係市町：千葉県佐倉市外3市2町
受益面積：5,002ha
工 期：平成22年度～令和6年度
事業目的：用排水改良, 区画整理
(水質保全)
主要工事：機場6箇所, 水路L=54km

	法人化直後	現在
経営面積 (ha)	20	44